

2026年10月28日

各 位

第一工業製薬株式会社

年間約 2,000 トンの CO₂ 排出量を削減へ ～滋賀工場に MVR 型蒸発濃縮装置を導入～

第一工業製薬（本社：京都市南区、代表取締役社長：山路直貴）は、滋賀工場（滋賀県東近江市）の廃液濃縮工程における省エネルギー化を目的として、大阪ガス株式会社の 100%子会社である Daigas エナジー株式会社（本社：大阪府中央区、以下「Daigas エナジー」）とエネルギーサービス契約により、MVR 型（自己蒸気機械圧縮型）蒸発濃縮装置を導入しました。本設備は 2026 年 7 月より稼働しており、年間約 2,000 トンの CO₂ 排出量削減を見込んでいます。

当社は中期経営計画「SMART 2030」において、「サステナビリティ」を重要な経営課題と位置付け、2030 年度までに DKS 国内グループの温室効果ガス (GHG) 排出量を 2013 年度比 30%削減する目標を掲げています。本設備導入は、その達成に向けた取り組みの一つです。

今回、滋賀工場に導入した設備は、MVR 技術※¹により濃縮工程で発生する蒸気を再利用することで熱エネルギーを有効活用するものです。これにより、設備導入前と比較して蒸気使用量を大幅に削減し、CO₂ 排出量の削減を実現します。

当社は今後も省 CO₂ 化や再生可能エネルギーの活用など GX (グリーントランスフォーメーション) の取り組みを推進し、脱炭素社会の実現と持続的な企業価値向上を目指します。

- 実施拠点：第一工業製薬株式会社 滋賀工場
- 削減効果：CO₂ 排出量 約 2,000 トン/年（見込み）
2030 年度目標達成に必要な GHG 排出削減量約 7,500 トン/年
目標達成に向けて、約 27%相当の貢献（見込み）
- 導入装置：MVR 型（自己蒸気機械圧縮型）蒸発濃縮装置
（VVCC 濃縮装置：株式会社ササクラ製）



＜滋賀工場 MVR 型蒸発濃縮装置＞

※1 MVR 技術 (Mechanical Vapor Recompression)：蒸発工程で発生した蒸気を圧縮し、再び熱源として利用する蒸気再圧縮方式。

【本リリースについてのお問い合わせ先】

第一工業製薬株式会社 管理本部 戦略統括部 広報 IR 部
TEL. 075-276-3027 E-mail: d-kouhou@dks-web.co.jp
〒601-8002 京都市南区東九条上殿田町 48 番地 2